これまでの検討と本日の論点

1. 跡地活用の目的

中心市街地(柳ケ瀬~つかさのまち)のにぎわいの創出

上位関連計画

- ◆集約型まちづくり
- ◆行財政効率化

2. 跡地を活用したまちづくりの方向性

にぎわいの質、形(多様なにぎわい)

- ◆文化的活動によるにぎわい
- 若い人の文化や芸術への熱望を湧きあげる。
- ◆消費活動によるにぎわい
- 商業施設(地区)として人を呼び寄せる。
- ◆企業活動によるにぎわい
- 仕事、雇用の創出により継続的に繁栄する。
- ◆交流その他の活動によるにぎわい 交流等を求めて人が集まる。

にぎわいの集客範囲、対象者

- ◆まちなか居住者
- 住民が少なくてはまちづくりができない。
- ◆岐阜市民(全域)
- 市民が中心市街地に好んで訪れるようなにぎわいをつくる。
- ◆市外・県外の人
- 岐阜市以外の地域からも集客する必要がある。
- ◆対象者
 - あらゆる人(子ども~高齢者、障がい者)

理想とするまちづくり(デザインテーマ)

- ◆人にやさしいまちづくり
- **◆歴史を大事にしたまちづくり** 信長のまちづくり (楽市楽座等) を参考に
- ◆長良川の伏流水を利用したまちづくり

3. 跡地への導入機能と施設イメージ

(1)跡地への導入機能に関する意見	事業性	(2)意見のあった施設イメージ	
 <公園・広場機能> ・コンペを開催し今までなかった世界一の公園を造る ・公園の場を提供することで参加する芸術をつくっていくことは非常に大事 ・一般市民のイベント開催、県内の物産展の開催ができる場 ・にぎわいをつくり、非常時には防災機能も発揮できる公園はおもしろい ・少子高齢化社会でこそ子育て環境の充実が必要 	公立	・公園 (グリーンインフラの考え方を取 り入れる) ・イベント広場	オープン
く文化・芸術機能> ・起爆剤となるような施設を点として整備し、波及効果でにぎわいにつなげる ・全国、世界から集客できればにぎわい創出になる ・人材育成のためにパフォーマンスを披露するまでの練習・研究ができる場	公共中心	・劇場、ホール ・パブリックシアター ・パブリックアートセンター ・スタジオ	
<日常生活の安心・安全機能> ・防災研修や体験学習等を行えるようにし、子どもや他県から人を集める		• 防災学習施設	
<教育機能> ・学生を集めて波及効果を期待	公 ~ 民	_	建築物
<子育て支援機能> ・柳ケ瀬とリンクした子育て支援機能		_	
<居住機能><生活便利機能> ・できれば居住者を増やしたい	民間中心	・高齢者等居住施設 ・コンドミニアム	
<オフィス機能> - 今後も残る創造性のある仕事ができる場		・IT等の創造的な産業の振興施設	
<商業機能> ・まずは人を呼び寄せられるまちにする ・柳ケ瀬商店街にもメリットがある機能		・商業施設 (その他、回遊促進のためのまち の駅など)	
く共通> ・街歩きにおいてトイレは重要		・トイレ	

4. 留意事項

◆周辺地区との連携の確保

- ・本庁舎跡地は周辺一帯が行政的・文化的中心地であることを考慮し検討すべき。
- ・南庁舎跡地は、柳ケ瀬に近いため、柳ケ瀬に来ている人にリンクする機能を導入

◆将来の社会的変化への対応

・人口減少、少子高齢化など大きく社会環境が変化しても柔軟に対応できる利用形態がよい。

◆初期コストや維持管理費を考慮

- ・大規模施設は初期コストも維持管理費も大きくなる。
- ・維持管理費をかけるなら人件費と事業費にすべき。
- ・仮設構造物で初期コストを下げる
- ・できれば財政の潤うもの(施設)が良い

◆現実的な議論が必要

- ・費用や他施設との関係性の面から現実味のある活用方法を検討すべき。
- ・財政負担が大きいと市民の納得が得られない。
- ・岐阜市の身の丈に合った企画でないと、市民から受け入れてもらえない。
- ・市外・県外の人も対象とする施設に多額の市税を投入することは市民の理解が得られるか。

◆土地の公共性が重要

- ・中心市街地活性化のため、新たな公共空間が必要となった場合のリザーブとする。
- ・公共財産として土地を大切に考える。
- 公共の土地が多いほど良いまちにしやすい。

◆財政効率化

・民間活力の導入が考えられる(財政支出の平準化)。

◆周辺施設の動向に注目

- ・他施設との差別化、相乗効果、他施設の老朽化等を考慮する。
- ・岐阜タカシマヤ、岐阜商工会議所など柳ケ瀬の集客施設の動向も踏まえる

【土地利用のあり方】

- ・中心市街地の活性化や集約型まちづくりを実現するためには、公共用地を活用し、公共がまちづくりをコントロールしていく必要
- ・長期的なにぎわいによる持続可能なまちづくりと財政効率化を両立させるためには、民間活力 等の適切な導入が必要

【機能導入・施設整備のあり方】

- ・まちづくりの目的・方向性に適った活用のためには、市民ニーズと立地特性を考慮した機能の 導入が必要
- ・将来的な公共施設の老朽化や社会環境の変化に伴う市民ニーズの変化や多様化に対応するとともに、財政負担も考慮した最適な施設整備が必要

(1) 導入機能素案について

本日の

論点

⇒ ・導入機能の絞り込み (にぎわい創出のための主な機能)

(2)施設のイメージと活用方針(案)について

- ⇒ ・活用方針(案)
 - ・導入機能と施設イメージ(案)
 - ・整備イメージ (案)